

<参考資料>
平成25年8月7日
東京電力株式会社

多核種除去設備
バッチ処理タンクからの漏えいを踏まえた
B系統の停止計画と追加調査結果



東京電力

バッチ処理タンク漏えいの原因・再発防止対策およびB系統の停止計画

■ A系統の漏えいの原因・再発防止対策

- 原因：バッチ処理タンク 2 Aからの漏えいの原因はすき間腐食と判断。腐食を発生させた要因は海水由来の塩化物イオンが存在していることに加え、次亜塩素酸や塩化第二鉄の注入によって腐食が加速される液性であったこと、付着したスケール等がすき間環境を形成していたこと等と推定。
- 再発防止対策：欠陥部の補修完了後、ゴムライニング（クロロプレンゴム）を施工。

■ B系統の停止計画

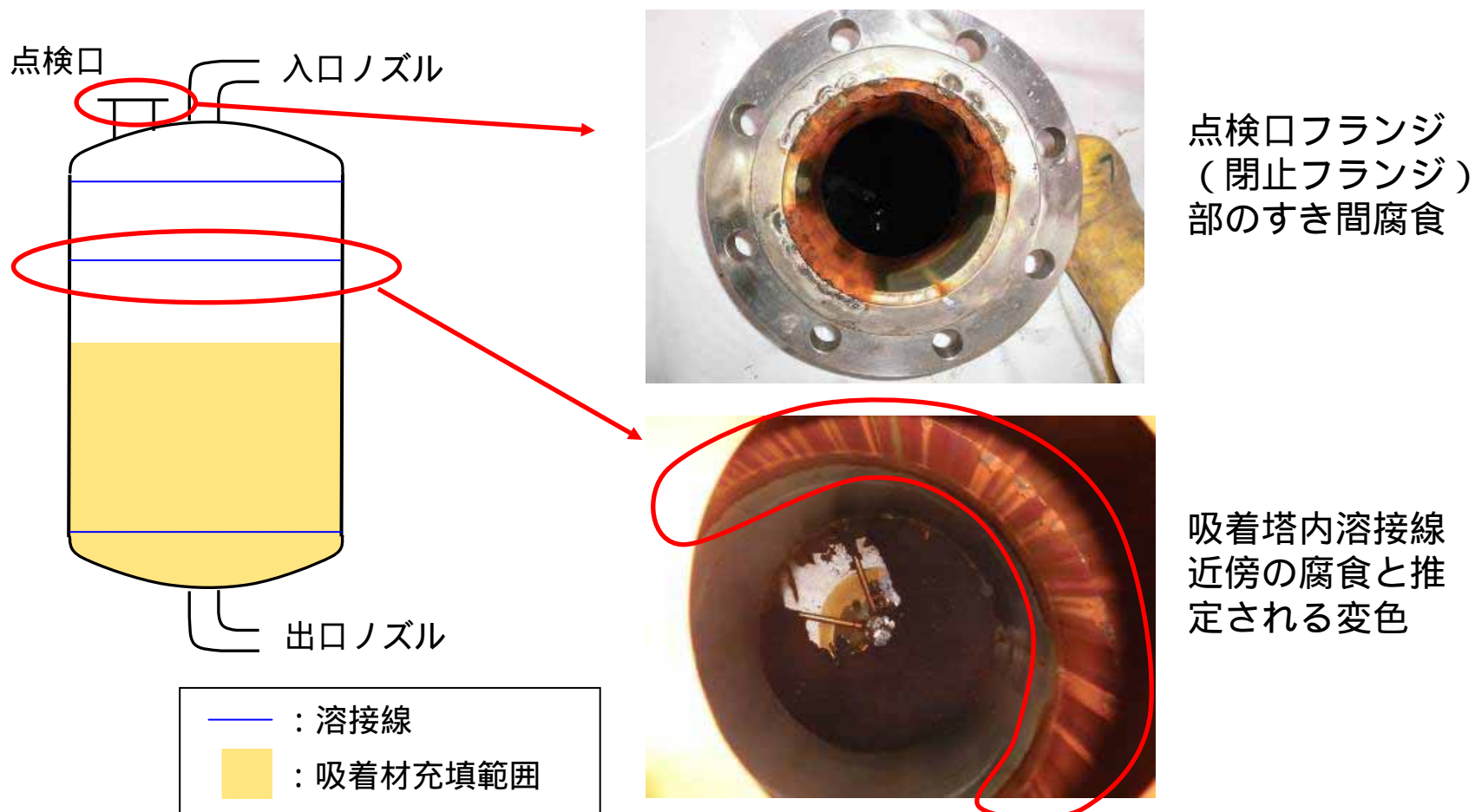
- 8月8日に処理を停止し、再発防止対策を施工予定。

ホット試験の再開（開始）

再発防止対策を施工し、終了した系統から順次ホット試験を再開（開始）予定。

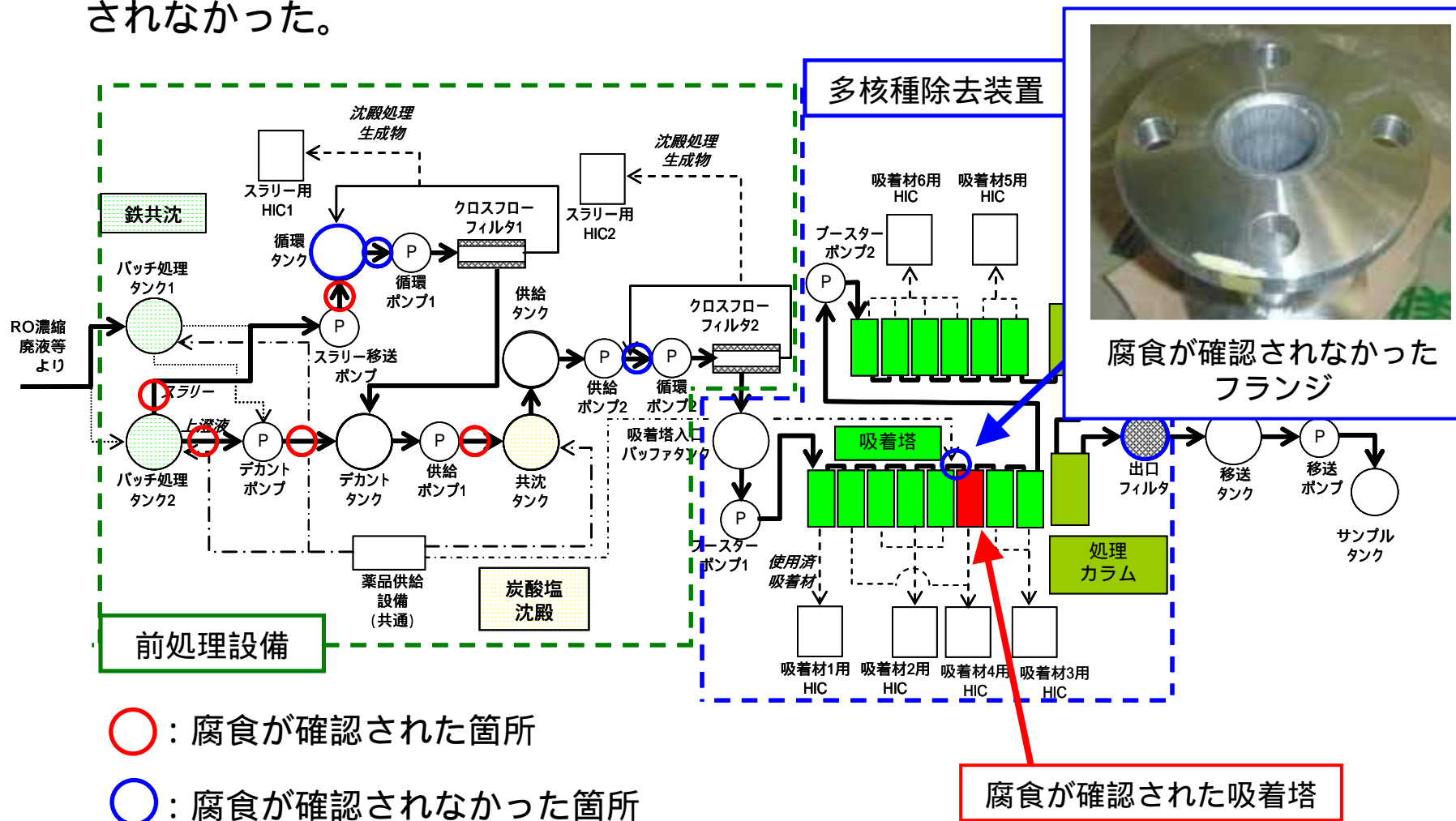
吸着塔 6 A 内部の状況

- A 系統の本停止期間中に A 系統の吸着塔 6 A の吸着材交換を計画しており、吸着材の抜き取り作業のみを先行して実施した。
- 吸着塔 6 A の吸着材抜き取り後に内部点検を行ったところ、点検口のフランジ面のすき間腐食と吸着塔内面に腐食に起因すると推定される変色を確認した。



バッチ処理タンク腐食確認時の水平展開調査箇所

- バッチ処理タンク腐食の水平展開調査として、過去に吸着塔 6 A 入口の pH サンプルラインのフランジを点検した際、pH サンプルラインのフランジには腐食が確認されなかった。



吸着塔 6 A の補修・対策スケジュール

- 吸着塔 6 A 内部に腐食が確認された原因および影響範囲を評価するため、継続して調査を実施する。
- 原因が判明し次第、対策について検討する。
- 吸着塔 6 A の補修については並行して検討する。